

あいち農産物生産流通レポート

平成24年8月号

情報サロン		
・鮮赤紫色の「クルクマ愛知1号」を開発		
	(農業総合試験場)	1
地域トピックス		
・クルクマの新品種「クルクマ愛知1号」をお楽しみに!		
	(海部農林水産事務所)	2
東日本情報		
・大都市の都市近郊農業		
	(東京事務所)	3
西日本情報		
・「平成24年度 愛知のふるさと食品コンテスト」 の出品食品を募集します		
	(食育推進課)	5
フラワーページ		
・中学校技術家庭科で地元産のミニバラを育てる		
	(岐阜県立国際園芸アカデミー 准教授 井上守)	6
青 果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)		7
・名古屋・東京市場における青果物の8月の見通し		8
花 き		
・切花・鉢花の8月の見通し(県内市場)		20
輸出入		
・主要農産物の輸出入実績(2012年5月)		24
関連指数		25

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ
愛知県農林水産部食育推進課

(03)-5492-5400
(052)-954-6421

鮮赤紫色の「クルクマ愛知1号」を開発

1 はじめに

クルクマはショウガ科に属する球根植物で、花序の形と色が花ハスに似ていることからその代用品として、また、日持ち性に優れる夏季の切り花として利用されています。

しかし、用途が「花ハスの代用品」に偏りすぎているため、新たな需要を獲得するためには従来の品種とは異なった形質をもつ新品種を導入する必要性がありました。

また、鉢花生産では5月上旬から晩秋まで出荷物が極端に少なくなる経営体系が多く、この期間に出荷できる品目が望まれていました。

このような課題を解決するために、耐暑性がありコンパクトな草姿で多収性、鉢花適応性をもつ「クルクマ愛知1号」を育成しました。

2 育成経過

「クルクマ愛知1号」は極早生品種の「ピンクパール」を子房親に、短稈で花色が鮮やかな「チェンマイルージュ」を花粉親とする交雑の中から選抜された品種です。平成17年に交配し、平成23年に形質の固定及び特性検定、現地試作、市場性評価を行い育成を完了しました。平成23年12月に種苗登録申請を行い、平成24年3月に出願公表されました。

3 「クルクマ愛知1号」の特徴

下位ほう葉から上位ほう葉まで鮮やかな赤紫色に発色します。ほう葉の形は円形で、現在の主力品種「シャローム」よりも優しい花型をしています。茎はやや細い(4mm)ものの、十分な硬さがあり横方向に活けても下垂しません。早生性で萌芽数が多く、秋季の切り花形質も優れていて多収性です。鉢花生産にも向いており、3号ロングポットから6号鉢までの生産に適しています。

4 おわりに

「クルクマ愛知1号」は本年より生産者による営利生産が開始されています。



写真1 「クルクマ愛知1号」の切り花



写真2 「クルクマ愛知1号」の鉢花

クルクマの新品種「クルクマ愛知1号」をお楽しみに！

海部地域は鉢花や球根切花の生産が盛んで、海部苗木花卉生産組合連合会では、今年から新たに、鉢花適応性のあるクルクマの新品種「クルクマ愛知1号」の試作に取り組んでいます。

クルクマは東南アジア原産、ショウガ科の植物です。全国的には切花の品種「シャローム」が生産され、日持ち性が良く、お盆や彼岸向けの仏花として親しまれていますが、鉢花適応性はありませんでした。

平成23年、切花だけでなく、鉢花としても生産できる新品種「クルクマ愛知1号」が農業総合試験場で開発され、海部苗木花卉生産組合連合会では会員から試作希望者を募集しました。

平成24年3月28日(水)には、海部総合庁舎でクルクマ新品種の試作希望者を対象に「クルクマ愛知1号」の栽培説明会を開催し、クルクマ新品種を開発した農業総合試験場の職員に、草丈の長さの調節方法などのアドバイスを受けました。



説明会風景

平成24年4月4日(水)には、鉢花生産者8戸に対して球根の配布を開始しました。また、来年以降使用する球根を養成するため、球根切花の生産者1戸に対しても球根を配布し、併せて切花の試作が行われています。

さらに、平成24年7月10日(火)には栽培技術の研究会が行われ、将来的に、仏花などの需要に合わせて、出荷の時期は7月～8月が中心になる予定です。

クルクマ新品種の特徴

- ・ 種子親「ピンクパール」の下位ほう葉まで発色する性質と花粉親「チェンマイルージュ」の草姿、鮮やかな赤紫色の花色を併せ持っています。
- ・ 観賞持続性は主力品種「シャローム」と同じように優れています。
- ・ 切花本数は主力品種「シャローム」の2倍と多収性です。
- ・ 草丈40～60cmで鉢花生産にも向いています。



クルクマ愛知1号

出荷鉢数(予定)

平成24年8月中旬～下旬 700鉢

大都市の都市近郊農業

愛知県も名古屋市周辺は都市近郊農業の盛んな地域ですが、やはり東京の都市近郊農業は力が入っています。特に練馬大根で有名な練馬区は東京23区で農地面積が最も広く、たくさんの野菜、果樹、花などが作られています。

都市農地の現状と役割

都市農地(市街化区域内農地)は、安全で新鮮な農産物を供給するとともに、都市におけるヒートアイランド現象の緩和や都市景観の保全、そして都会に住む人たちが農にふれあう場を提供するなど、様々な役割を果たしています。しかし、都市農地はこの10年間で1,330haが失われ7,670haまで減っています。そんな中、都内では、都市農地保全推進協議会が身近な農地を守るための取組を行っています。

都市農地保全の取組

都市農地の課題解決のため、都市農地保全推進協議会が、都市農地の減少の課題をもつ都内の38自治体により、都市農地保全の取組の進展を図り、自治体全体の住民福祉の向上を図ることを目的として平成20年10月に発足しました。これまでの活動状況は、国に対して農地所有者の相続税等納税猶予の継続や都市計画法の中に都市農地を不可欠なものとして位置づけるよう見直し、生産緑地法の見直しなど要望を行っている。また、都市農地保全自治体フォーラムを開催し、都市農地を活かしたまちづくりについて考えています。また、これ以外にも平成21年10月に発足した全国都市農業振興協議会という組織もあり瀬戸市なども賛同会員として参加しているようです。



都内にも多くの農地が残っています。



区内に100カ所以上の直売所がある。

直売施設

練馬区には、4カ所の共同直売所と114の個人直売所があります。都市部ですので農薬などはほとんど使うことがない安全なものを新鮮で安く買うことができるため、多くの住民が利用するとのこと。この日もトマト等たくさんの野菜が並んでいました。

区民農園と体験農園

練馬区には、多くの区民農園と体験農園があります。区民農園は2,000区画以上あり、借り主が好きな物をつくっています。今の時期はトマト、なすが人気でどの区画でも作られていました。体験農園は10カ所以上あり、都市農業にしか発揮できない機能と役割を持った農業形態として注目を集めています。農家経営の1つとして農家が開設して、耕作の主導権をもち、経営・管理します。体験農園では、園主が種、苗、肥料、資材、農具など農作業に必要な物全てを用意し、作業を行う際には農家が講習会を行います。

観光農園

練馬区にはなんと27ものブルーベリーの観光農園があります。その背景として練馬は関東ローム層という酸性の土壌でブルーベリーの栽培に適しており、また、ブルーベリーは農薬を抑えた栽培が可能のため、区がJAと協力して栽培をすすめてきました。さらに開園にあたっては、苗や土壌改良などの費用に対して区からの補助があるため多くの農園ができました。

そうした中の1つ「みやもとファーム」は、体験農園、市民農園、農園レストラン、ブルーベリー狩り園と都市部とは思えない広大な農地を活かした多角的経営を行っており、多くの人で賑わっていました。

以上のように練馬区を代表として都内で行われている農業形態は、農業経営、農産物流通の1手段として都市近郊では大きな役割を果たしており、県内においても非常に参考になるものではないでしょうか。



ブルーベリー狩り園は27カ所！



みやもとファーム

「平成24年度 愛知のふるさと食品コンテスト」 の出品食品を募集します

～ コンテストの最優秀食品を県から全国コンクールに推薦します～

愛知県では、県内で生産された農林水産物を主な原材料とする加工食品（＝ふるさと食品）を集めて、技術や味、包装デザインなどを競う「平成24年度愛知のふるさと食品コンテスト」を下記により開催します。

これは、農林水産物の生産振興等を目的として開催するもので、3年以内に製品化された加工食品が対象です。

コンテストで最優秀に選出された食品は、財団法人食品産業センターが主催する全国規模でのコンテスト「優良ふるさと食品中央コンクール」に、愛知県代表として推薦します。

また、出品いただいた加工食品は、希望により県のホームページに掲載し、広く一般に紹介します。

主食、惣菜、菓子、飲料など、食品の種類は問いません。多くの企業・団体からの出品をお待ちしています。



昨年度の最優秀食品
「ぴよりん」

記

1 応募要件及び審査基準

食育推進課にお問合せいただくか、ホームページを参照してください。

(<http://www.pref.aichi.jp/0000052610.html>)

2 応募方法

応募様式に必要事項を記載の上、平成24年8月22日(水)までに提出してください。

3 審査会

(1) 日時：平成24年9月5日(水)午後2時から

(2) 場所：あいち産業科学技術総合センター食品工業技術センター（名古屋市西区）

4 審査結果の通知等

(1) 応募者には、審査結果を審査会終了後に通知します。

(2) 最優秀食品に選出されたふるさと食品については、財団法人食品産業センターが主催する「平成24年度優良ふるさと食品中央コンクール」に県から推薦します。

5 出品食品に対するPR機会の提供

出品食品については、出品者の希望により県のホームページ「いいともあいち情報広場」(http://www.pref.aichi.jp/shokuiku/ii_tomo/)に掲載し、広く一般に紹介します。

6 申込み・問合せ先

愛知県農林水産部食育推進課 消費・食品表示グループ

電話 052-954-6434

メールアドレス shokuiku@pref.aichi.lg.jp

中学校技術家庭科で地元産のミニバラを育てる

1．生物育成スタート

読者の方はもうご存知と思いますが、平成 24 年度から小中学校の学習指導要領が全面的に改定され、中学校技術家庭科の分野で生物育成が必修となりました。中学校技術家庭の総時間数 87.5 時間にうちの 18 時間は絶対に生物育成の授業をしなくてはならないということです。私は 3 年前から、岐阜県の技術家庭の先生方と生物育成の授業の教材研究を行ってきました。今回は昨年度行われた、岐阜の特産物であるミニバラを使った授業の実践を紹介したいと思います。

2．岐阜県のミニバラの事例

今回、ミニバラを導入した授業を行ったのは、岐阜市立岩野田中学校と可児市立西可児中学校です。生徒は 4 ヶ月前後という長い期間、ミニバラと触れ合っていきます。これは画期的なことで、従来の業界の有志で行われてきた花育で指摘されていた課題(単発で終わってしまう、アフターフォローができない、場所がない、機会がない、指導者がいない、手弁当である・・・)をすべて克服されており、授業で行われることは、絶好の花育の場と言えます。



春スタートの岩野田中学校は ミニバラについて知る・バラの生育・郷土の特産物 土作り(有機肥料と化学肥料) 剪定、スケッチ 農薬の取扱

(夏越し)秋の開花 に挑戦しました。秋スタートの西可児中学校では、岩野田中学とほぼ同様の内容でしたが、授業修了後(卒業後)自宅に持ち帰らせて庭のある人は庭に植えたようです。

3．新たな発見と課題

業界の我々にとって見慣れた花でも、一般の人々、ましてや子ども達にとってはめずらしく新鮮で目を輝かせて取り組んでいたということです。花と触れ合ったことのない人たちに対する仕掛けの大切さを感じました。

今後の課題としては物流が挙げられます。学校の先生方においては、「園芸の指導」よりも「教材の調達」に不安を持たれている先生が多いとのことでした。これは忙しい学校生活の中で、生ものである花を発注する難しさがあると思います。植物を扱ったことのある物流機能を備えた中間業者が必要になると思います。

愛知産青果物の動向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

名古屋中央卸売市場（品目：巨峰）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
23年実績	1167	187 (16%)	840	885	長野 (65%) 山梨 (18%)
24年見通し	1110	-	840	-	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>長野を中心に山梨、愛知などから入荷する。県内では豊橋、新城、大府が主な産地。当初は小房、小玉傾向だと思われたが、気温の回復により、生育は順調。台風の影響が出ているところがややある。入荷量は自然減のため、昨年度比95%程度の見込み。価格は、重油高の影響もあり、高かった昨年と同様の見込み。</p>			<p>生産農家は減少傾向。高齢化が進み、後継者不足の状況。 消費者は種なしのものを好む傾向にある。これをうけて品種は全国的に種無しのものへの生産の移行、増産の動きがある。また、皮ごと食べられる品種も人気が出ている。 消費者の果実の消費量が減少しているため試食販売等により販売促進活動を行うべき。</p>		

東京都中央卸売市場（品目：いちじく）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
23年実績	276	133 (48%)	659	728	和歌山 (37%) 静岡 (5%) 福岡 (5%)
24年見通し	320	-	640	-	
概 要 と 見 通 し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>ハウスものから露地ものへ切り替わる時期となる。愛知を中心に和歌山、静岡、福岡などから入荷する。愛知は、生育遅れが続いていたが、7月下旬になって平年並みに回復してきた。和歌山は露地がやや遅れて進んでいる。ともにピークは8月下旬。ピーク時に好天が続けば市場到着後の店もちもよく、量的に多くても価格の大きな落ち込みはないと予想している。入荷量は前年をかなり上回り価格は前年をわずかに下回ると見込まれる。</p>			<p>夏から秋の果物として定着している。本県産地は、数量・品質ともにトップレベルにあり、量販店からも支持されている。このためトップブランドとして、一層の品質管理や等階級別の選果に努めてほしい。特に、傷みができることが多いので検品をしっかりとってほしい。 また、生産者の高齢化等により生産規模が縮小しているため、産地での生産規模の維持・拡大をお願いしたい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の8月の見通し

名古屋中央卸売市場

7月14日 現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	19年	32,946	208	191	210	220	北海道 26%
	20年	34,757	184	203	193	159	長野 23%
	21年	32,613	237	228	254	231	群馬 10%
	22年	32,432	228	225	231	228	兵庫 9%
	23年	33,421	202	209	203	200	
	5カ年平均	33,234	212	-	-	-	
	24年見通し	32,900	215	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は北海道、長野中心。4～5月は低温の影響があり、出荷が出遅れた。6月からは気温が上昇し、葉菜、果菜中心に入荷量が回復している。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり上回る見込み。							
だいこん	19年	2,146	89	65	74	120	北海道 68%
	20年	2,110	84	89	96	73	青森 18%
	21年	2,008	120	116	139	111	岐阜 13%
	22年	1,634	105	84	108	122	長野 2%
	23年	2,112	69	76	59	78	
	5カ年平均	2,002	93	86	94	100	
	24年見通し	2,000	80	80	80	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は北海道、青森中心。生育は順調で、今後出荷のピークを迎える。気温が高くなることを受けて、消費が鈍る。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。							
にんじん	19年	2,790	64	78	46	63	北海道 93%
	20年	2,407	103	86	102	120	青森 6%
	21年	2,533	156	152	165	152	中国 1%
	22年	1,740	216	218	207	220	愛知 0%
	23年	2,006	130	131	129	133	
	5カ年平均	2,295	127	127	123	131	
	24年見通し	2,100	140	140	130	150	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地はほとんどが北海道で、次いで青森。青森は7月中旬から出荷が増え、その後北海道産のものが増加する。5月中旬まで雪が残った影響もあり、北海道は出荷が少し減少するかもしれない。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり上回る見込み。							

東京都中央卸売市場

7月26日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	19年	127,643	221	217	224	221	北海道 20%
	20年	127,676	210	0	200	216	群馬 15%
	21年	122,784	254	246	269	248	長野 14%
	22年	122,709	245	234	250	249	青森 8%
	23年	126,666	219	218	211	226	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	125,496	230	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
24年見通し		125,000	220	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>関東高冷産地に加えて、東北、北海道からの入荷が中心となる。これまで、比較的東北や関東産地は冷涼、少雨できており、品目によって、豊作型のものもあれば、やや遅れ気味のものもみられる。 総体では、入荷量は前年並みで、価格についても前年並の見込み。</p>							
だいこん	19年	10,028	85	59	77	116	北海道 76%
	20年	10,363	83	86	94	73	青森 18%
	21年	9,667	112	112	124	104	岩手 4%
	22年	9,162	100	79	106	114	群馬 1%
	23年	10,916	70	69	65	74	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	9,882	90	81	93	96	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
24年見通し		9,800	85	80	90	85	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道、東北産地中心の入荷となる。北海道は地域によって生育にばらつきがあるものの概ね順調。青森については、6月の播種時に台風4号の影響で遅れがあったが回復傾向である。 全体の入荷量は多かった前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>							
にんじん	19年	7,611	72	82	56	73	北海道 76%
	20年	6,288	111	95	114	120	青森 19%
	21年	6,452	159	158	168	152	中国 3%
	22年	5,488	206	203	200	213	千葉 1%
	23年	6,614	121	116	121	126	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	6,491	129	131	132	137	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
24年見通し		6,400	125	120	125	130	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道からの入荷が中心となる。北海道は中旬までは順調な入荷見込みだが、播種時の遅れにより下旬に谷間ができる。青森は作付やや減に加え播種遅れの影響で1週間の遅れがある。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>							

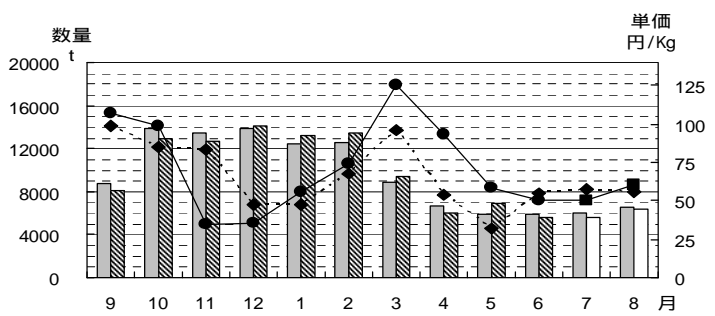
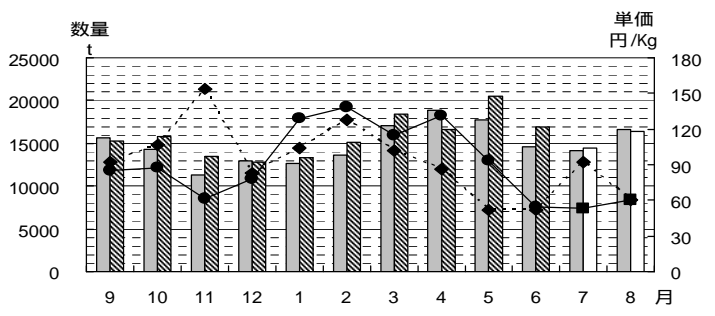
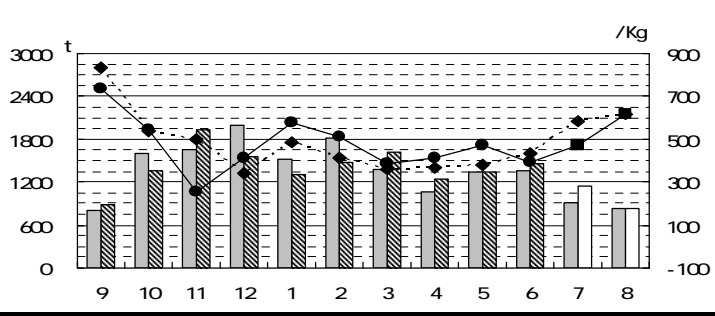
名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうきさい	19年	2,549	89	81	90	94	長野 94% 群馬 4% 北海道 2%
	20年	2,148	82	70	80	96	
	21年	1,768	99	79	90	122	
	22年	1,704	101	79	102	120	
	23年	2,062	55	55	60	64	
	5カ年平均	2,046	84	73	84	98	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
24年見通し	1,950	70	60	60	80		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地はほとんどが長野。8月の高温に注意。生育は順調であり、大玉傾向である。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
キヤベツ	19年	4,436	112	114	108	114	群馬 61% 長野 26% 北海道 11%
	20年	4,141	66	66	67	65	
	21年	3,887	93	73	96	110	
	22年	3,903	89	94	88	86	
	23年	4,333	62	59	53	78	
	5カ年平均	4,140	84	81	82	91	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
24年見通し	4,200	70	60	70	80		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は群馬、長野、北海道が中心。群馬は生育順調であり、安定した出荷が見込める。長野は作付が減少。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
ほうれんそう	19年	248	680	694	514	805	岐阜 90% 長野 3% 群馬 2% 北海道 2%
	20年	190	816	736	792	902	
	21年	239	724	662	811	714	
	22年	184	783	815	765	775	
	23年	217	633	640	545	723	
	5カ年平均	215	722	704	678	780	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
24年見通し	200	700	660	700	740		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地はほとんどが岐阜、特に高山中心。現在は生育順調だが、今後高温が続くようだと入荷量は減少する見込み。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					

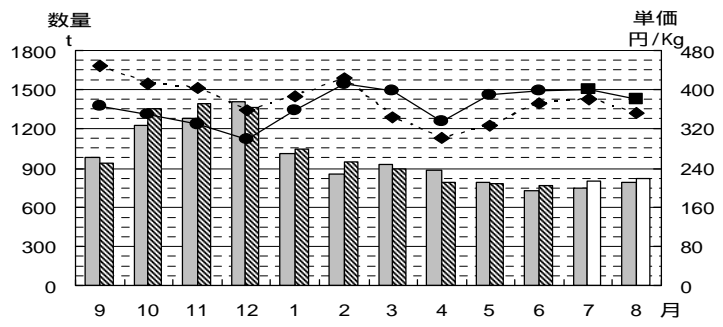
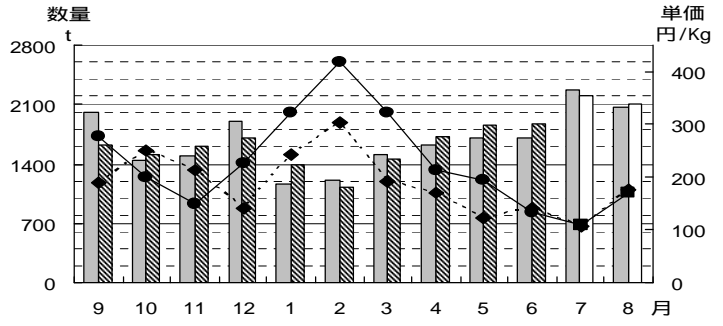
東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	前年主要産地(%) (愛知産比率)			
				上旬	中旬	下旬	
ほうき	19年	6,039	80	74	81	84	長野 94%
	20年	5,658	72	55	66	91	群馬 4%
	21年	5,250	91	68	83	117	北海道 2%
	22年	5,891	94	70	96	113	
	23年	6,482	56	52	55	61	(愛知産比率 -%)
	5ヵ年平均	5,864	78	64	76	92	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	6,400	60	55	60	65	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前月に引き続き長野からの入荷が中心となる。長野の作柄は極めて良好、7月下旬から最盛期に入り、8月前半までは潤沢な出荷が見込まれる。中旬以降は今後の天候次第で変化する。 入荷量は多かった前年並みで、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					 <p>数量 t / 単価 円/Kg</p>
キヤベツ	19年	14,546	110	109	107	114	群馬 73%
	20年	15,246	62	60	65	60	岩手 15%
	21年	15,689	90	67	94	107	北海道 6%
	22年	15,243	88	91	88	84	長野 3%
	23年	16,619	60	56	50	74	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	15,469	81	77	81	88	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	16,500	60	55	60	65	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬中心に岩手、北海道からの入荷が主力となる。群馬は作付増に加え、気象条件にも恵まれ豊作型の展開となっている。岩手も生産者が出揃い潤沢な出荷が見込まれる。 入荷量は前年並み、価格は安かった前年並となる見込み。</p>					 <p>数量 t / 単価 円/Kg</p>
ほうれんそう	19年	890	654	570	591	791	栃木 29%
	20年	839	714	660	767	716	群馬 26%
	21年	966	632	594	666	639	岩手 15%
	22年	674	840	779	899	839	茨城 13%
	23年	827	617	568	562	723	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	839	684	634	697	742	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	830	620	620	620	620	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東高冷地と岩手からの入荷となる。群馬はこのところの気温高、適雨により生育は順調。栃木も同様の傾向である。岩手も生育は順調。しかし、今後の出荷量はこれからの天候によるところが大きい。 入荷量は前年並となり、価格は安かった前年並となる見込み。</p>					 <p>数量 t / 単価 円/Kg</p>

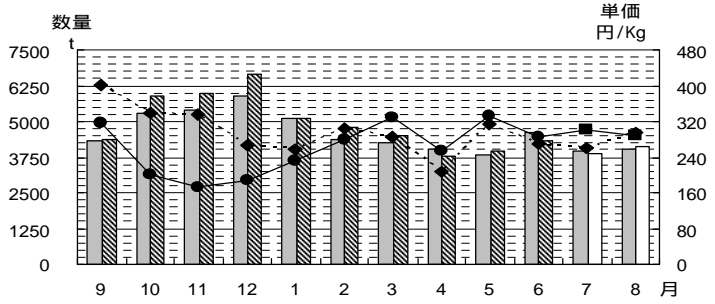
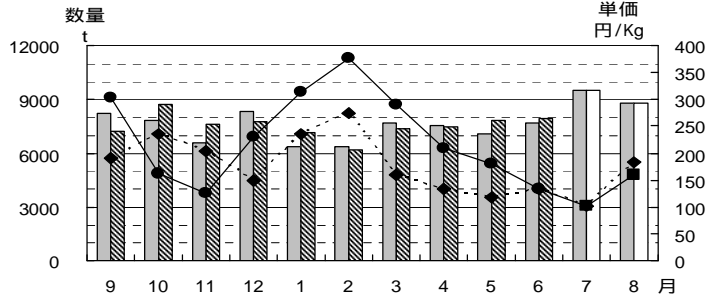
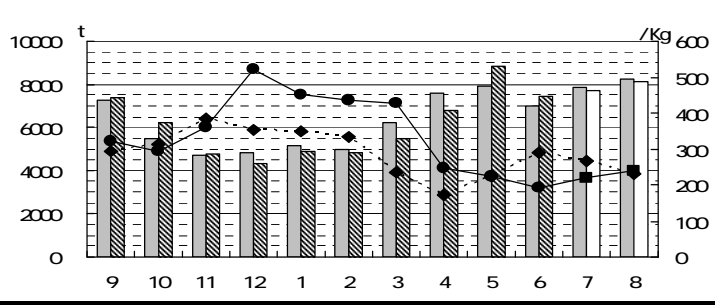
名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	19年	876	465	472	511	433	北海道 22%
	20年	888	402	353	418	431	愛知 21%
	21年	947	426	402	476	413	茨城 9%
	22年	863	422	439	443	390	富山 8%
	23年	791	353	320	358	404	
	5カ年平均	873	415	399	443	414	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	820	380	350	400	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知、北海道、富山、茨城中心。4～5月の日照不足、台風の影響により生育不足。ねぎは高めの価格が続く見込み。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
レタ	19年	2,224	233	241	251	211	長野 99%
	20年	2,180	143	121	145	160	愛知 0%
	21年	2,000	233	182	279	243	北海道 0%
	22年	2,045	221	211	224	226	群馬 0%
	23年	2,072	176	131	186	236	
	5カ年平均	2,104	201	177	216	214	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	2,100	170	150	170	190	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地はほとんど長野。16玉中心の出荷が見込まれる。入荷量は前年並みで、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
きゅう	19年	1,725	267	227	237	328	長野 48%
	20年	1,529	285	210	231	432	北海道 18%
	21年	2,316	221	166	233	276	岩手 9%
	22年	1,520	272	200	267	343	山梨 8%
	23年	1,545	275	261	205	394	
	5カ年平均	1,727	260	209	234	347	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	1,500	270	25	270	250	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は長野中心で、一部北海道や東北からの出荷。作付の面積が少し減少。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並みの見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ね	19年	4,246	294	265	391	261	茨城 39%
	20年	4,428	274	221	288	306	青森 20%
	21年	4,401	308	310	393	247	中国 9%
	22年	4,172	285	281	333	252	北海道 7%
	23年	4,032	296	227	318	341	(愛知産比率 -%)
	5カ年平均	4,256	291	261	345	281	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
ぎ	24年見通し	4,100	290	290	290		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		茨城、青森からの入荷が中心となる。茨城の夏ねぎは比較的冷涼な気候により、高品質で生育も順調できている。青森は定植遅れとその後の低温・少雨の影響で遅れている。 入荷量は少なかった前年をわずかに上回り、価格は前年並の見込み。					
レ	19年	7,802	216	228	235	193	長野 87%
	20年	8,245	141	120	139	161	群馬 9%
	21年	7,802	229	183	274	240	岩手 2%
	22年	8,442	221	210	220	231	茨城 1%
	23年	8,802	183	119	188	251	(愛知産比率 -%)
	5カ年平均	8,219	197	172	211	215	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
タ	24年見通し	8,800	160	120	180	180	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		長野からの入荷が中心となる。長野の生育は地域によっては若干遅れているところもあるが概ね順調、例年のない朝晩の冷え込みでイタミの発生も少ない。今後、災害等がなければ潤沢な出荷が見込まれる。 入荷量は多かった前年並を見込み、価格は前年をかなり下回る見込み。					
き	19年	8,552	239	199	212	304	福島 45%
	20年	7,750	237	168	176	408	岩手 22%
	21年	7,847	289	266	298	301	秋田 12%
	22年	8,052	252	186	253	308	青森 5%
	23年	8,254	231	202	157	353	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	8,091	249	204	219	335	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
り	24年見通し	8,100	240	220	240	260	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		東北産地からの入荷が中心。福島は露地ものに切り替わり、中旬まで潤沢な出荷が見込まれる。岩手は少雨の影響で生育が遅れ気味となっており出荷量は若干少なめ。全体の入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をやや上回る見込み。					

名古屋市中央卸売市場

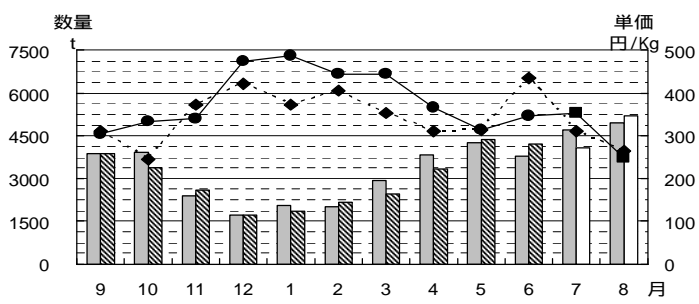
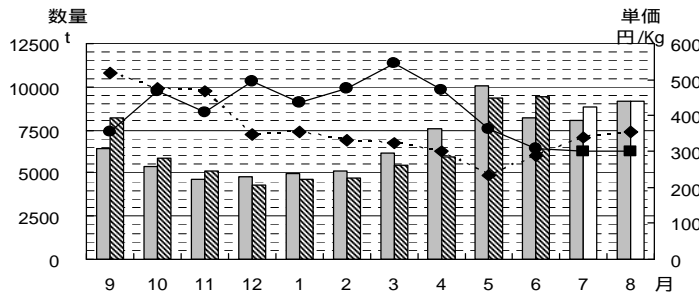
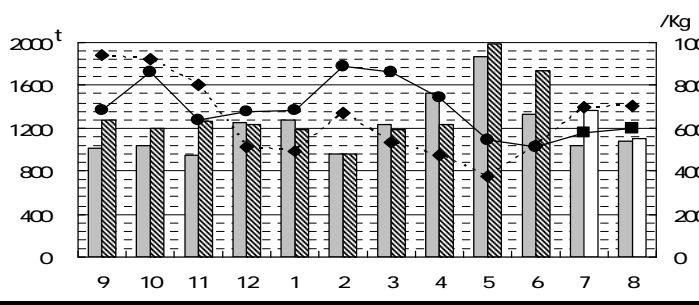
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	19年	1,222	262	335	324	177	山梨 25%
	20年	1,123	204	205	166	257	愛知 25%
	21年	1,092	269	266	270	268	徳島 17%
	22年	1,210	235	257	253	211	群馬 9%
	23年	1,226	258	334	238	212	
	5カ年平均	1,175	246	281	251	224	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
24年見通し	1,200	250	250	250	250		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は愛知、山梨、徳島、岐阜。台風の 影響は少なく、生育は順調である。8月が 出荷のピークとなる。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は 前年をやや下回る見込み。							
ト マ	19年	1,971	273	267	231	314	岐阜 56%
	20年	1,735	216	193	191	272	北海道 21%
	21年	1,647	342	193	312	419	愛知 7%
	22年	1,585	344	290	322	466	青森 6%
	23年	1,677	364	384	336	388	
	5カ年平均	1,723	305	265	276	368	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
24年見通し	1,650	330	300	330	350		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は岐阜、北海道中心。一部愛知、青 森。岐阜、北海道は生育順調。今後の天 候、気温に注意が必要。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかな り下回る見込み。							
山 形	19年	344	474	529	440	456	北海道 82%
	20年	310	411	360	349	520	長野 8%
	21年	337	570	546	528	626	山形 4%
	22年	353	613	559	535	719	
	23年	370	705	719	699	709	
	5カ年平均	343	560	549	516	610	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
24年見通し	350	600	600	600	600		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は北海道中心で長野、愛知から少し 出荷される。生育は順調であり、荷動きも 良い。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年 をかなり下回る見込み。							

東京都中央卸売市場

「なす」の数値には「べいなす」を含まない。

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	19年	5,622	237	291	318	159	栃木 30%
	20年	5,122	208	192	157	291	茨城 24%
	21年	5,025	271	277	282	257	群馬 23%
	22年	5,451	219	245	219	181	埼玉 9%
	23年	4,970	265	357	202	249	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	5,238	239	272	236	227	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	5,200	250	250	250		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地からの入荷が中心となる。関東の各産地とも台風4号の影響も少なく生育は順調。主力の栃木は昨年少なめであったが本年は平年並の出荷が見込まれる。入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年をやや下回る見込み。</p>					
ト マ ト	19年	10,206	239	229	204	287	青森 27%
	20年	9,232	227	214	188	295	福島 16%
	21年	9,003	317	296	294	363	北海道 12%
	22年	8,832	336	287	306	410	群馬 11%
	23年	9,145	356	402	293	390	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	9,284	293	286	257	349	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	9,200	300	300	300		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>東北産地からの入荷が中心となる。青森は乾燥傾向で推移しきているものの生育は概ね順調、樹勢も良く順調な出荷が期待できる。福島は8月中旬に出荷のピークを迎える。入荷量は前年並で、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	19年	1,195	464	471	475	450	北海道 31%
	20年	1,194	405	384	372	460	岩手 18%
	21年	1,064	580	556	587	597	福島 16%
	22年	1,038	623	551	607	702	青森 12%
	23年	1,074	707	718	729	677	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	1,113	550	536	554	577	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	1,110	600	580	600	620	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>岩手、福島に加え北海道からの入荷が増えてくる。各産地とも遅れ気味でできていた昨年の同時期に比べ、生育は良好で、今後の天候の影響もあるが現況、順調な出荷が見込まれる。入荷量は少なかった前年をやや上回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>					

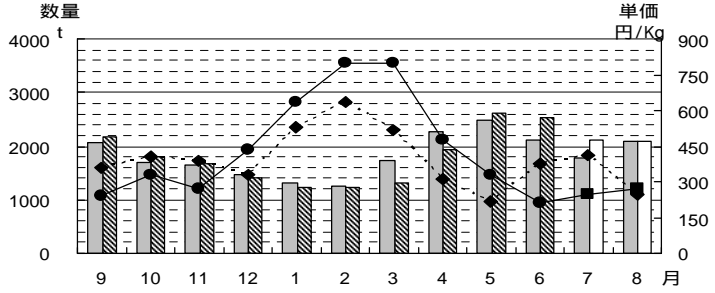
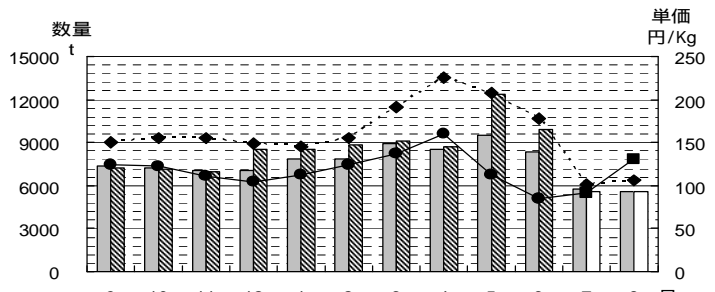
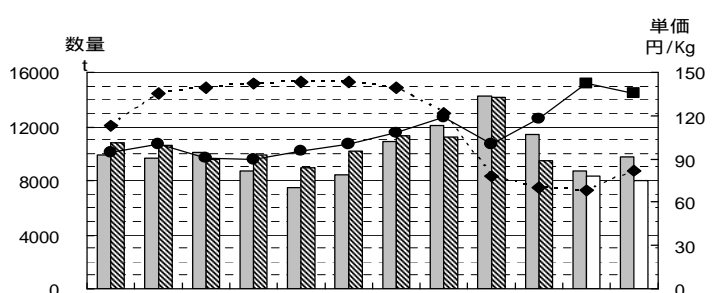
名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピー	19年	550	307	376	261	286	岩手 50%
	20年	549	244	222	245	259	北海道 31%
	21年	477	349	358	373	327	青森 6%
	22年	496	334	346	315	339	
	23年	525	291	442	291	255	(愛知産比率 0%)
マン	5カ年平均	519	303	348	295	292	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	500	320	350	320	280	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は岩手、北海道中心。7月の海の日以降入荷量が減少し、8月中旬から入荷量が増える見込み。安定した出荷が見込まれる。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
ばれい	19年	2,498	89	86	89	91	北海道 54%
	20年	2,860	95	90	98	95	青森 36%
	21年	2,295	178	238	194	129	静岡 6%
	22年	2,431	136	120	134	149	
	23年	1,814	107	103	105	110	(愛知産比率 0%)
しよ	5カ年平均	2,380	120	126	123	114	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	2,100	110	120	110	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は北海道、青森中心。北海道は8月に入ってから出荷が始まり、第2週以降に出揃う見込み。青森は7月下旬より出荷が始まる。両産地とも生育順調である。</p> <p>入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>					
たまねぎ	19年	4,522	72	82	67	68	兵庫 69%
	20年	5,430	67	58	65	74	北海道 18%
	21年	4,127	130	133	149	118	佐賀 7%
	22年	4,638	95	102	95	90	愛知 4%
	23年	4,515	74	79	73	73	
ぎ	5カ年平均	4,646	86	89	88	84	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	4,200	120	120	120	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は兵庫、北海道中心。兵庫は出荷量が少ない見込み。7月中旬以降に北海道が出てくる。</p> <p>入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	19年	2,212	253	326	217	223	岩手 44%
	20年	2,139	203	179	207	219	茨城 17%
	21年	2,027	320	330	359	284	福島 17%
	22年	2,009	310	319	311	301	青森 16%
	23年	2,090	245	354	218	176	(愛知産比率 -%)
マン	5カ年平均	2,095	265	302	262	241	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	2,100	270	270	270	270	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>岩手、茨城、青森からの入荷が中心。岩手は6月後半の干ばつと低温の影響で生育に遅れが出ているものの回復傾向にある。茨城は生育順調で潤沢な出荷が見込まれる。</p> <p>入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
ばれいしょ	19年	5,325	93	91	93	93	北海道 47%
	20年	5,833	103	100	105	103	茨城 17%
	21年	5,619	179	226	200	136	青森 9%
	22年	5,694	149	137	148	158	千葉 8%
	23年	5,566	107	93	105	119	(愛知産比率 0%)
いしょ	5カ年平均	5,607	126	129	130	122	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	5,600	130	120	130	140	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>北海道からの入荷が中心。北海道は少雨で小玉傾向であるが生育は順調で前年並の出荷が期待できる。京浜市場へは7月末からの出荷となる。その他産地も前年並の出荷となる見込み。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
たまねぎ	19年	10,332	79	81	81	75	佐賀 33%
	20年	11,236	78	71	80	83	兵庫 30%
	21年	9,205	141	140	151	136	北海道 24%
	22年	9,923	110	114	113	105	中国 5%
	23年	9,792	82	84	84	79	(愛知産比率 0%)
ねぎ	5カ年平均	10,098	97	98	102	96	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	8,000	135	140	135	130	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>佐賀、兵庫、北海道からの入荷が中心。佐賀は収穫も終了し市況を見ながらの出荷となるが、貯蔵量は少なく前年の7割程度。兵庫も少ない。北海道は下旬から本格化してくるが、現況、作柄は良好。</p> <p>入荷量は前年を大幅に下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

「その他メロン」は「アールスメロン」以外のメロンをいう。

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	19年	13,436	356	353	344	370	長野 20%
	20年	13,660	330	361	335	286	フィリピン 16%
	21年	12,670	319	340	297	312	山形 12%
	22年	11,902	346	340	358	343	愛知 10%
	23年	11,989	321	338	316	305	
	5カ年平均	12,731	335	-	-	-	
24年見通し	11,700	320	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は、長野、山形、愛知。春の低温により、開花遅れなどの影響が出ていたが、天候回復のため生育状況に回復が見られる。桃などは生育が早まっている。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並みの見込み。</p>					
アールスメロン	19年	396	558	529	550	666	愛知 52%
	20年	383	529	548	526	478	静岡 31%
	21年	334	474	460	473	525	青森 7%
	22年	341	503	469	569	490	茨城 5%
	23年	340	500	0	0	0	
	5カ年平均	359	515	-	-	-	
24年見通し	340	470	750	600	550	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知、静岡中心。メロンは全て苦戦している。スタートから単価安が続く。作柄は悪くない。入荷量は前年並みで、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
すいか	19年	2,799	174	158	175	211	山形 35%
	20年	2,635	160	193	168	69	長野 32%
	21年	2,390	119	117	116	131	秋田 13%
	22年	2,594	174	177	161	187	青森 12%
	23年	2,688	130	148	137	103	
	5カ年平均	2,621	152	159	152	141	
24年見通し	2,600	140	140	140	140	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は山形、長野、秋田、青森。8月中旬に山形、秋田がピークを迎える。長野の出荷は8月いっぱいまでに見込み。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果 実 計	19年	42,798	345	323	356	364	山形 19%
	20年	44,671	312	337	328	265	山梨 13%
	21年	45,955	293	310	285	283	福島 11%
	22年	41,208	342	322	355	354	フィリピン 9%
	23年	44,246	298	319	294	275	(愛知産比率 1%)
	5カ年平均	43,776	317	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	45,500	310	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>なし、もも中心に入荷。ももは山梨、福島中心。出荷のペースが早く、8月はその分減る予想。なしは関東産地で雹害と黒星病の発生があり減る予想。また、中旬までの出荷が多くなる見込み。玉肥大良好で大玉比率が高まる。前年に比べ入荷量はわずかに上回り、価格はやや上回る見込み。</p>					
ア ー ロ ン	19年	752	586	508	636	676	静岡 39%
	20年	770	491	601	510	362	茨城 29%
	21年	715	459	476	442	456	青森 11%
	22年	775	450	438	530	399	山形 5%
	23年	706	483	531	464	415	(愛知産比率 8%)
	5カ年平均	744	494	511	518	461	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	640	500	550	500	450	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>静岡、茨城中心に青森、愛知から入荷する。作付面積は静岡、茨城、愛知ともに減少している。各産地ともに、現状平年並みに出荷されている。生育は良好でさらに肥大してくる。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回ると見込まれる。</p>					
す い か	19年	10,872	176	147	191	230	山形 51%
	20年	10,881	161	184	168	88	秋田 12%
	21年	10,813	120	115	115	138	長野 11%
	22年	10,709	178	169	175	211	神奈川 8%
	23年	10,589	137	140	143	117	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	10,773	154	151	158	157	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	10,500	150	155	150	145	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>山形を中心に長野、秋田などから入荷する。山形はやや小玉傾向であるが、前年並みの出荷見込み。長野は順調な生育で3L中心。秋田も3L中心で後半にピークが見込まれるが、大きな山はない予想。全体の入荷量は前年並み。価格は前年をかなり上回るものの、平年をやや下回る見込み。</p>					

切花・鉢花の8月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 7月26日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪ぎ	実績	19年	3,940	63	
		20年	3,442	64	
		21年	3,395	53	
22年		2,821	60		
23年		3,003	51		
5ヶ年平均		3,320	58		
24年見通し		3,300	55		
	概要	<p>愛知、長野、三重から入荷。白菊は岩の白扇が減少し、精の一世が主力となる。梅雨明け後一時暑くなったが、涼しい日も多く、やや前進傾向で、8月6日頃がピーク。7月が安かった分、月初めの動きは微妙だが、盆に近づけば堅調と思われる。</p>			
小ぎ	実績	19年	3,677	33	
		20年	2,822	37	
		21年	2,625	36	
22年		2,989	40		
23年		3,309	31		
5ヶ年平均		3,084	35		
24年見通し		3,500	35		
	概要	<p>愛知、長野、埼玉、奈良等から入荷。生育は順調で安定入荷が見込まれる。盆商戦で前半は堅調な動きとなるが、盆明けは一時厳しい状況も。</p>			
カーネーション	実績	19年	1,370	45	
		20年	1,105	43	
		21年	1,092	45	
22年		1,294	43		
23年		1,375	40		
5ヶ年平均		1,247	43		
24年見通し		1,400	44		
	概要	<p>長野中心に北海道から入荷。毎年7月に一番花の集中出荷を迎えるが今年は集中出荷を避けて、6月にピークを迎えた産地と7月にピークがきた産地があり、大きな山がさほどなくもちあいで8月に移行できる。盆需要でスタンダードが早い段階から動きを見せ、6日くらいからスプレーが動き、スプレーはやや少なめで堅調に推移する。</p>			
かすみ草	実績	19年	119	101	
		20年	113	98	
		21年	92	117	
22年		66	110		
23年		73	115		
5ヶ年平均		93	107		
24年見通し		80	115		
	概要	<p>長野、北海道、福島から入荷。生育は順調だが、数量は多くなく、月を通して堅調。</p>			

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
鉢	実績	19年	592	139	
		20年	492	142	
		21年	486	145	
		22年	514	149	
		23年	546	149	
	5ヶ年平均	526	145		
24年見通し	550	145			
概要	<p>オリエンタルは新潟、岐阜、北海道中心、LAは新潟、埼玉から、鉄砲は兵庫、愛媛、長野から入荷。生育は順調で、盆用の動きは6日から始まるが、仕入れのピークは8~10日。前半は数量が多いと苦しい展開に、盆明けも同様に数量により苦しい展開が予想される。</p>				
洋らん	実績	19年	524	73	
		20年	393	85	
		21年	441	75	
		22年	489	77	
		23年	484	83	
	5ヶ年平均	466	78		
24年見通し	500	80			
概要	<p>愛知、鹿児島、静岡、輸入等から入荷。例年8月は洋らん類の入荷が少なく、単価が上がってくる時期ではあるが、ここ数カ月、業務需要の引き合いが弱く、今年は単価的に伸び悩んでおり、その傾向はしばらく続いて弱含みの展開が予想される。</p>				
鉢	実績	19年	831	48	
		20年	644	53	
		21年	798	50	
		22年	686	51	
		23年	696	54	
	5ヶ年平均	731	51		
24年見通し	700	54			
概要	<p>愛知、岐阜、長野、青森、山形、和歌山から入荷。近郊産地は夜冷をして品質低下を防いでいる。お盆明けまでは需要も少なく、厳しい展開。入荷量自体は減少する。</p>				
枝	実績	19年	1,946	59	
		20年	1,695	57	
		21年	1,756	56	
		22年	2,039	61	
		23年	2,440	57	
	5ヶ年平均	1,975	58		
24年見通し	2,500	60			
概要	<p>静岡、長野、福岡からお盆商材が入荷。特に盆需要で法月、パンプス、榊等は引き合いが強い。後半は稽古休みの為、価格は厳しい品目も多くなるが、山取りの花材は堅調と思われる。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ア ン ス リ ウ ム	実 績	19年	15,142	1,107	
		20年	14,124	973	
		21年	16,684	963	
		22年	11,418	1,331	
		23年	17,425	908	
	5ヶ年平均		14,959	1,037	
	24年見通し		17,000	900	
概要	<p>入荷量は6号中心に昨年並みか。単価面は前年同様に下がる見込み。中元シーズンが始まり、6～8号が中心となるであろう。 昨年8月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(99.3%)、2位三重県(0.6%)、3位岐阜県(0.1%)となっている。</p>				
シ ヤ コ バ サ ボ テ ン	実 績	19年	7,163	429	
		20年	4,464	526	
		21年	13,643	373	
		22年	8,456	345	
		23年	7,665	353	
	5ヶ年平均		8,278	390	
	24年見通し		7,500	380	
概要	<p>入荷量は減少か。3.5号～8号の埼玉産が盆明けより中心となるが、4.5号～5号の単価は厳しそう。単価の上がっている5号等の入荷比率が、注文・相対が中心となっている為、入荷量に直接影響する事は必至である。 昨年8月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位埼玉県(77.5%)、2位愛知県(20.8%)、3位茨城県(1.7%)となっている。</p>				
バ ラ 及 び ミ ニ バ ラ	実 績	19年	6,383	79	
		20年	1,942	159	
		21年	3,973	177	
		22年	4,575	124	
		23年	4,831	117	
	5ヶ年平均		4,341	122	
	24年見通し		4,700	110	
概要	<p>入荷量は減少か。花持ちの悪い時期に入る為、単価は厳しく売れ行きは低迷しそう。 昨年8月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位岐阜県(40.1%)、2位愛媛県(35.3%)、3位山口県(17.2%)となっている。</p>				

単位：鉢、円/鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
オンジュウ	実績	19年	5,340	957	
		20年	4,000	820	
		21年	5,963	779	
		22年	3,607	842	
		23年	3,400	800	
	5ヶ年平均	4,462	842		
	24年見通し	3,300	790		
概要	<p>入荷量はやや減少か。単価面では非常に厳しい状況が続く。出荷時はツボミ多めの固い物でのご出荷を心がけて頂きたい。 昨年8月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(58.1%)、2位長崎県(17.1%)、3位山梨県(14.8%)となっている。</p>				
スパティフィルム	実績	19年	9,973	280	
		20年	13,254	208	
		21年	4,921	284	
		22年	7,156	268	
		23年	7,081	235	
	5ヶ年平均	8,477	248		
	24年見通し	7,000	230		
概要	<p>入荷量は昨年並みか。6号以上の作付減、小鉢、苗物は昨年と同様か。単価面では高値は少ないと思われるが、平均的となるのではないか。 昨年8月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(53.3%)、2位三重県(39.2%)、3位岐阜県(7.5%)となっている。</p>				
ドラセナ類	実績	19年	35,959	562	
		20年	23,724	625	
		21年	28,646	522	
		22年	19,019	650	
		23年	24,649	603	
	5ヶ年平均	26,399	585		
	24年見通し	2,300	600		
概要	<p>入荷量は昨年並みか。サイズは小鉢を中心に4~6号がメイン。大鉢は厳しそう。主要品目は定番のユッカ、マッサンがメインとなり昨年頃からドラセナ、ジュレも増えてきた。 昨年8月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(69.7%)、2位鹿児島県(8.8%)、3位沖縄県(6.8%)となっている。</p>				

主要農林水産物の輸出入実績(2012年)

1 輸入実績

品名	5月						5月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	77,896	123.6	7,396,230	135.8	95	109.9	439,271	93	39,889,461	97	91	104.6
トマト	405	241.6	136,434	272.0	337	112.6	1,812	186	632,701	204	349	110.0
たまねぎ	27,896	119.5	1,131,889	127.3	41	106.5	153,193	77	5,480,181	60	36	77.3
にんにく	1,741	132.5	210,429	65.6	121	49.5	8,532	105	947,169	49	111	46.8
ねぎ	3,920	101.9	508,262	179.6	130	176.3	21,591	86	2,681,819	131	124	151.6
ブロッコリー	5,032	169.5	686,920	157.4	137	92.9	23,146	148	3,366,574	129	145	87.3
結球キャベツ	3,520	178.9	163,880	262.9	47	147.0	27,838	139	1,040,258	156	37	112.1
にんじん・かぶ	7,209	92.8	438,206	124.4	61	134.1	21,591	47	1,832,686	83	85	176.0
ごぼう	3,051	105.8	195,550	73.2	64	69.2	19,519	97	1,094,695	55	56	56.6
えんどう	292	188.6	97,838	256.7	335	136.1	1,531	153	568,357	214	371	139.9
アスパラガス	660	110.6	365,700	108.8	554	98.4	10,214	131	4,317,792	116	423	88.0
まつたけ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
しいたけ	206	83.3	55,194	84.4	268	101.4	2,362	84	802,727	111	340	131.7
かぼちゃ	16,636	132.9	1,253,925	135.1	75	101.7	89,173	93	5,688,666	93	64	100.0
果実(生鮮・乾燥)	186,165	108.1	25,842,865	102.3	139	94.6	828,386	85	94,544,874	81	114	95.3
バナナ	108,066	109.6	7,729,818	101.3	72	92.4	456,840	83	29,547,360	79	65	94.7
パイナップル	17,595	131.0	1,063,842	134.6	60	102.8	67,983	93	3,965,703	94	58	100.9
レモン	4,328	96.1	543,598	106.6	126	110.9	19,758	85	2,245,918	87	114	103.3
オレンジ	8,019	88.6	806,826	92.1	101	104.0	60,978	99	5,760,170	98	94	99.5
グレープフルーツ	5,444	125.6	484,315	122.8	89	97.8	79,146	91	7,379,777	91	93	100.5
メロン	4,357	107.9	468,495	111.4	108	103.3	12,645	62	1,455,139	67	115	109.2
ぶどう	3,270	137.1	523,783	152.1	160	111.0	12,300	120	2,384,006	145	194	120.9
キウイ	10,681	76.0	3,801,354	86.3	356	113.6	20,180	49	6,964,644	54	345	110.1
いちご	41	177.1	30,851	172.7	757	97.5	101	166	74,244	156	734	94.2
切花(生鮮・乾燥)	3,176	138.5	2,508,337	162.4	790	117.3	18,224	101	13,763,905	108	755	106.5
鳥獣肉類	165,580	106.6	70,088,494	102.9	423	96.5	734,627	81	317,148,979	80	432	98.7
牛肉(くず肉含む)	42,249	105.1	18,439,024	107.1	436	101.9	194,266	79	81,774,973	79	421	100.2
豚肉(くず肉含む)	72,704	113.3	38,126,983	113.2	524	99.9	324,421	84	170,253,271	84	525	100.1
鶏肉	42,628	99.8	8,632,738	71.6	203	71.7	180,606	79	43,216,149	71	239	89.3
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	164,941	103.3	95,911,063	115.2	581	111.4	789,181	91	443,473,876	96	562	105.0
まぐろ類	19,850	535.5	15,893,916	3504.0	801	654.3	93,191	126	81,874,611	132	879	105.1
さば・さんま・あじ・いわし	2,411	58.9	515,110	80.9	214	137.3	43,590	115	7,919,794	125	182	108.4

2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	86	226.4	72,810	176.9	846	78.1	2,085	20	1,119,768	32	537	165.5
うんしゅうみかん	2	95.7	2,706	93.3	1,415	97.5	115	78	69,399	72	603	92.0
りんご	68	263.3	34,906	308.5	510	117.1	1,810	18	804,040	27	444	150.6
なし	-	-	-	-	-	-	10	48	4,690	54	464	112.6
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	165,610	158.2	-	-	-	-	978,164	100	-	-
緑茶	176	81.2	343,858	68.5	1,952	84.4	853	74	1,857,017	80	2,176	107.2

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
		(全国 平成22年 = 100)				
		(愛知県 平成22年 = 100)				
全 国	22年平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	24年 1月	99.6	106.3	113.5	99.9	103.2
	2月	99.8	107.1	118.7	99.7	101.4
	3月	100.3	108.2	117.9	99.7	101.8
	4月	100.4	105.5	104.5	99.1	101.9
	5月	100.1	100.0	110.2	98.8	100.7
愛 知 県	22年平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	24年 1月	99.3	103.7	117.4	100.5	104.0
	2月	99.8	106.8	123.6	101.3	102.2
	3月	100.5	107.4	123.8	100.3	101.9
	4月	100.6	106.4	107.3	102.0	103.2
	5月	100.3	103.4	114.0	100.7	103.2

項目 年月		農業物価指数 (平成17年 = 100)				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
		(平成17年 = 100)				
全 国	22年平均	101.9	93.9	115.0	119.4	99.8
	24年 1月	109.2	99.9	131.8	140.2	97.5
	2月	111.7	99.4	137.4	143.5	97.9
	3月	114.8	97.4	145.2	130.8	97.7
	4月	108.9	97.7	116.8	127.6	98.1
	5月	103.3	99.6	118.3	124.0	98.9

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県・愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)													
品目 単位 年月	うるち米 (単一品種、 「コシ加」 以外)	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご(ふじ)
	5 kg	1 kg										100g	1kg
22年平均	2,236	158	172	603	419	313	142	314	203	510	615	201	447
24年 1月	2,058	211	152	705	625	280	150	302	216	721	651	182	531
2月	2,066	235	183	653	686	293	166	312	209	740	655	186	546
3月	2,039	210	247	743	696	310	207	345	226	752	754	162	558
4月	2,048	186	276	691	494	359	232	436	228	530	762	161	602
5月	2,039	226	232	662	427	373	178	429	226	481	664	153	645
品目 単位 年月	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶(せん茶)	カーネーション	きく	バラ	豚肉(ロース)	牛肉(ロース)	まぐろ
	1 kg	100g	1 kg	100g	1 kg	100g	1 本	100g	1 本	100g	100g	100g	100g
22年平均	604	312	382	143	254	682	603	162	166	326	223	752	479
24年 1月	575	295	366	189	227	701	547	156	159	306	230	752	408
2月	645	293	381	195	217	821	536	161	168	322	231	763	399
3月	747	281	376	180	224	849	544	168	181	333	220	805	415
4月		247	351	142	216	903	554	153	179	315	230	830	404
5月		263	359	148	217	808	536	168	163	316	232	805	390

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



いいともあいち運動って知ってる？

県内の消費者と生産者が今まで以上に**いい友**関係になる

Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

= もっと愛知県産品を食べよう (利用しよう)

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート 470
平成24年8月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6421